

議会だより やまもと

Vol. 192
令和3年5月19日発行

力強く歩み出す山元中入学生
～ 山元中入学式～



～ 山元中開校式～

第1回臨時会

会期 1月12日

第1回定例会

会期 2月26日

3月18日

- 令和3年度予算……………P2～9
審議・総括質疑・特別委員会
- 一般質問……………P10～15
議員5名
- 委員会報告……………P18
閉会中の調査結果
- 会議等出欠状況……………P19

活力あふれるまちを目指して

活用し、財政健全化の確保に配慮～

定例会概要

第1回定例会は、2月26日から3月18日までの21日間の日程で開催され、地震により被害を受けたため、議場を別室に移し傍聴を制限する中、町長提出議案30件（報告1件、承認3件、条例7件、補正6件、人事案件1件、その他12件）を審議し原案通り可決しました。

一般質問では、地域の活性化と今後の町づくり等町政全般にわたり5人の議員が町長に質問しました。

一般会計予算概要

当初予算は、歳入歳出約77億円を見込み、歳入財源は一般財源約41億円、特定財源約23億円、震災復興特別交付税約4億円を見込んでも、約9億円財源が不足するため、臨時財政対策債で約2億3千万円を調達し、財政調整基金約6億7千万円を取り崩すことで収支を図りました。

（※特定財源とは、国県支出金、災害復興交付金基金等の繰り入れ金、地方債等）

令和3年度当初予算 各会計予算表一覧表

各種会計予算	総額	前年度比較
一般会計	76億7,740万円	▲37億1,091万円
国民健康保険事業特別会計	18億5,762万円	8,438万円
後期高齢者医療特別会計	1億7,742万円	▲67万円
介護保険事業特別会計	14億8,386万円	▲3,882万円
巨理地域介護認定審査会特別会計	735万円	▲7万円
水道事業会計	5億9,791万円	1,307万円
下水道事業会計	11億1,233万円	▲2,185万円

見る 算

防災重点農業用ため池浚渫事業 （田中溜池・下宮前溜池）



5,700万円

町民体育館長寿命化改修事業 （工事等）



2億8,552万円

地域外来・検査センター運営事業（巨理町と連携）



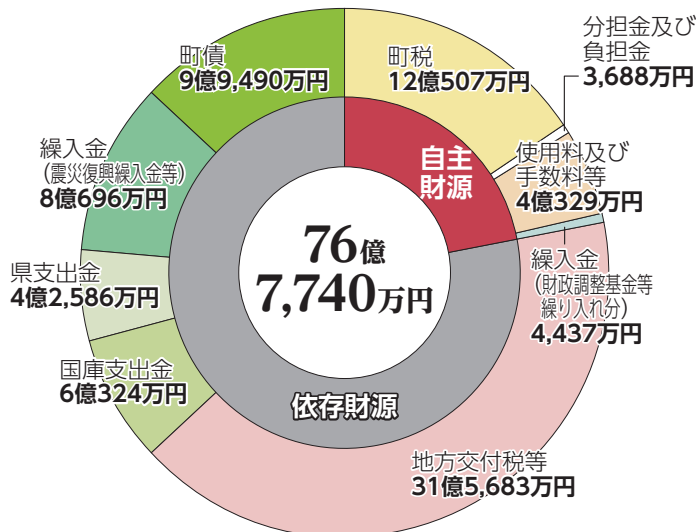
1,484万円

一般会計予算 **可決** 賑やかな

～各種基金など様々な財源を積極的に

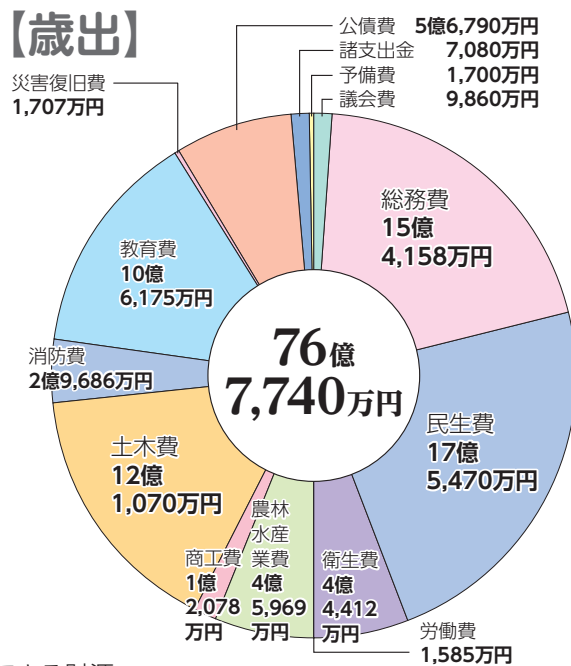
一般会計予算内訳

【歳入】



【自主財源】 16億8,961万円 町が自主的に確保することができる財源
 【依存財源】 59億8,779万円 国や県から交付される財源

【歳出】



目で
予

小規模保育事業所設置推進事業 (つばめの杜災害公営住宅活用)



1,750万円

移住・定住支援事業 (新婚・子育て世帯、新規転入者)支援事業



8,629万円

複合施設整備調査・基本計画策定事業



1,500万円

幹線道路等整備事業 (下郷寺前線他6路線)



4億9,392万円

修正案 議長裁決で 否決

1,500万円を減額する修正動議が提出され、7名の討論が行われた。採決結果はを尊重するとした議長の採決により予算修正案は否決された。

発議者 橋元 伸一 岩佐 孝子

提案理由

当町は、東日本大震災から10年経過しても、まだまだ復興途上だと考える。

また、新型コロナウイルス感染症により様々な弊害が発生しており、経済的に苦しんでいる住民も多く、終息には程遠い状況は否めない。

さらに2月13日に発生した福島県沖地震により大きな被害を受けた住民の心情を考えた時、今この事業を進めるのは時期尚早だと考える。ましてや膨大な事業費が予想され、財政面や運営面に対する不安が募る中、総事業費も示されず、将来、町民の負担にならないか心配される。事業費も財源も示されないなど、その他にも多くの疑念があり、この提案に対し、賛成することはできない。

福島県沖地震による被災者への支援、避難道路の整備、津波により被災した沿岸部の再生、保育所の定員超過や待機児童の解消、小・中学校の給食費や副食費の負担軽減など、他に優先すべきことがまだまだあると考える。

さらなる入念な計画のもと、時期を考えて提案すべきではないかと考え、発議するものである。



原案に賛成

竹内和彦議員

地域の活性化に必要

坂元の国道6号沿いの民有地11・9ヘクタールを、いかに活用するかで我が町の交流人口拡大と地域活性化、そして地域経済に様々な影響を及ぼす。今回、スポーツ・レクリエーション複合施設の場合は、具体的にいくらかかるのか、採算性は、町の財政との整合性は、将来性は等、専門家の調査が必要である。これからの町を、どうすべきかの判断は、この調査の結果によるところが極めて大きいことから、この議案には賛成する。

菊地康彦議員

調査をし、探究し、熟考し判断を

「スポーツ・レクリエーション複合施設整備調査・基本計画策定事業」は交流人口拡大、賑わいの創出が図られ、人口減少が著しい坂元地区の既存施設との連携を図れば、「交流・スポーツの拠点」になると思う。しかし、施設の内容、予算規模、維持管理費等を明確にし、町の大きな負担とならないことが確認出来なければ判断がつかない。貴重な税金だが、将来のため大切な計画なので調査を行うべきと考え原案に賛成するものである。

高橋建夫議員

予算審査特別委員会「可決」と決定

予算審査特別委員会全員で「可決すべきもの」と決定した。復興完遂、新型コロナウイルス感染、福島県沖地震、教育、福祉等の事業は併行して進め、重要なのは人口の自然減は否めぬが、社会増を図る上でも「複合施設の調査・基本計画」は大切な事業である。パークゴルフについては平成28年より調査し、団体より3回の要望書（3回中2回署名）も出ている。民間活力による採算を重視した事業とすべく、調査・計画を求め、賛成する。

複合施設整備調査費の減額

「スポーツ・レクリエーション複合施設整備調査・基本設計策定事業」の委託料賛成（6名）、反対（6名）の同数となり、予算審査特別委員会の結果（P8掲載）

討論とは

議題になっている案件に対して、「賛成」または「反対」の意見を表明すること。

自己の意見に反対する者、賛否の意思を決めていない者を自己の意見に賛同させることを目的とし行なうもの。

伊藤貞悦議員

タイミングは今なのか？

昨年の一般質問で、これからの町づくりを考え、心身共にリフレッシュできる入浴・休養施設や親子で過ごせる施設等の建設について質問した。

また、去年はコロナ禍で我慢と忍耐の1年でもあり、心身のリフレッシュが必要と考えた。しかし、2月13日の地震で大きく状況が変化した。

被害対策や救済事業が最優先、「町民の心に寄り添う」施策を考えると、「半年や1年」、先に伸ばして、タイミングを待つことも必要だと考え、修正案に賛成する。

高橋真理子議員

一番の懸念は事業費と財源

心身の健康と安心な暮らしは誰もが願うこと。計画は、パークゴルフ場単体からスポーツ・レクリエーション複合施設と変更されたが、今回予算計上された件の候補地は民有地である。全体事業費に大きく関わる、用地の買取りか借地か具体的なことが決まっていないうえ、財源においても深慮の余地があると考え。町民の安全を守る今後の災害対策費等も重要だ。

後世に大きな負債を残すことは避けるべきと考え、この修正案に賛成する。

岩佐孝子議員

今優先すべきことは

2・13福島県沖地震の被害は増加が予想され、町独自の救済、支援が必要である。総事業費、用地取得方法、整備計画などの判断材料も示されないため、修正案に賛成する。

1 優先順位を間違わず事業を実施すべき。
2 将来に負の財産を負わせるべきではない。
3 議会はチェック機能であり、議員の使命・責任は重要である。
次世代へ不安を与えることなく、安心して暮らせる生活を取り戻すことを優先し、持続可能な町づくりをめざすべきである。

遠藤龍之議員

多すぎる疑問

前調査計画の1千万円が、今回の提案では1500万円に至った経緯や根拠が不明。総事業費、総予算が明確にされない疑問。用地については相手企業と町長での対応であることが確認されているが、正式かつ、正規の機関決定ではないこと。町の計画と複合施設整備事業の中でのパークゴルフ場整備とするこれまでの説明に大きな乖離があることの疑問。以上が解けない中での取り組みには反対であり、修正に賛成する。

議案第18号 採決表

原案 賛成反対同数のため議長採決により可決

氏名	伊藤 貞悦	橋元 伸一	岩佐 秀一	大和 晴美	渡邊 千恵美	高橋 眞理子	竹内 和彦	遠藤 龍之	岩佐 孝子	阿部 均	菊地 康彦	高橋 建夫	岩佐 哲也
採決結果	●	●	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	—
	賛成	○	反対	●	議長	—							



修正案 賛成反対同数のため議長採決により否決

氏名	伊藤 貞悦	橋元 伸一	岩佐 秀一	大和 晴美	渡邊 千恵美	高橋 眞理子	竹内 和彦	遠藤 龍之	岩佐 孝子	阿部 均	菊地 康彦	高橋 建夫	岩佐 哲也
採決結果	○	○	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	—
	賛成	○	反対	●	議長	—							



議員はココに着目した!

総括質疑とは

提案された予算議案(または決算認定)について疑問や不明確な点があるとき、町長等に問いたすもの。

予算(または決算)に関係することしかできず、自分の意見を述べることもできない。

菊地 康彦 議員

人口減少施策や活力創出対策は

町長 今後の対策が次世代への鍵となる

議員 人口減少・少子化対策へ予算がどの様に反映されたか。

町長 将来の新市街地拡大を見据えた道路ネットワークの形成、新婚・子育て世帯への「移住・定住支援補助金」、「小規模保育事業所設置推進事業」等を計上している。

議員 移住・定住支援補助金は今後も支援可能か。

町長 住宅基金の一部活用も十分勘案して、制度の維持継続も含め検討する。

議員 さらに賑わいと活力の創出とあるが、具体的な取り組みは。

町長 「スポーツ・レクリエーション複合施設整備調査、基本計画の策定」に取り組む。

議員 議会としては、事業の是非を判断するにあたり、それぞれの視点で精査し、時には出処進退をかけて臨む必要がある。そのためには、本計画に対する町長の強い思い、執行部の熱意が必要である。

町長 人口減少は避けて通れない過疎の町である。復興を盤石なものとするため、これからの取り組みが鍵を握っている。次の世代にバトンタッチできる「魅力のあるまちづくり」を進めたい。

高橋 建夫 議員

「賑やかな過疎」の予算と今後は

町長 総合計画の基本方針に付加していく

議員 「賑やかな過疎」実現の予算と総合計画5つの基本計画との関係は。

町長 総合計画の基本計画に付加し、一方で過疎の補助を受け過疎脱却を目指す。

議員 過疎化にある町内外の若者は多様な活動をしているが、町の取り組み方は。

町長 内外の人材が活躍できる予算措置を念頭に進める。

議員 公営住宅施策は基金の弾力的活用で有効施策を期待したが。

町長 人口減少や公営住宅の活用に取り組む。

議員 保育事業は幼稚園との連携、保育所送迎ステーション、小規模保育など待機児童の解消に繋がるが、その底上げは。

町長 受け入れ体制や環境整備を図る。

議員 「健康づくり計画」を具現化し、町をあげての健康づくりとイメージUPは。

町長 計画的に取り組み、健康寿命の延伸、医療費の削減に繋げる。

議員 みのりプロジェクトは、地域の理解と学校の積極的活動が重要では。

教育長 町内の校長が推進会議の中心メンバーであり町全体を視野においた教育活動を目指す。

岩佐 孝子 議員

地域住民の声に耳を傾けるべき

町長 許容範囲内での利活用を図る

議員 財政が逼迫してきている中で、既存施設を積極的に活用した主な事業は。

町長 3月末で閉校する坂元中学校の施設利活用は、今後30年以上の利用が見込める。このことから、地震被害での修繕、補修をする。

議員 坂元中以外の既存施設の予算措置は。

課長 既存の復興住宅を活用した小規模保育事業所設置推進事業や町民体育館は長寿命化を図るため予算を計上している。

議員 小規模保育所事業設置は、なぜつばめの杜災害公営住宅となったのか。

町長 町の中心的位置にある一角を活用することである。

議員 復興住宅は目的外使用になるのでは。

町長 許容範囲内である。

議員 一極集中でよいのか。その考えは。

町長 小規模保育は、町の設置ではない。

議員 民間の力を借り設置するもので、町は支援をする。

議員 小規模保育事業所設置1750万円、補助約1981万円措置している。設置予定者は決定しているのか。

町長 めどをつけながら進めている。

議員 定住・移住を考え、坂元地区の強い要望を考慮すべきである。スポ・レク複合施設の用地は民有地だが、公共施設の利用を検討すべきである。

遠藤 龍之 議員

福島県沖地震被害の支援策を

町長 必要な支援策を早めに講じたい

議員 福島県沖地震の支援策について、当初予算に措置は考えられないか。

町長 タイミング的に計上していない。国・県に支援策を訴えるとともに、町独自の支援策も全容が固まり次第、改めて提案する。

議員 町独自、県独自の支援策も考えているとのことだが。

町長 県としての支援策について一定程度説明を受けている。それを踏まえ、町としても必要な支援策を早めに講じたい。

議員 介護保険事業特別会計予算について、この間、基金を活用した介護保険料の引き下げを求めてきたが、その対応は。

町長 高齢者人口及び介護認定者数の進展、介護医療院を含めた介護サービス利用料を推計し、現状に即した試算の結果、据え置きが妥当と判断した。

議員 改正後も基金が相当残っている。基金の活用が十分ではない。本来ならば被保険者に返さなければならぬ額まで積み上げている。被保険者の、少しでも楽な生活保障を考え、1億5千万円も残す必要はないと考える。

予算審査特別委員会委員長報告

予算審査特別委員会（委員長 遠藤 龍之）を設置し、5日間にわたる審議を経て次の意見を付け「可決すべきもの」としました。

特に留意すべき意見

（議案第18号一般会計予算について）

① 小規模保育事業の実施及び学校給食費の値上げについては、説明不足である。これまで、随所において見受けられる説明不足を指摘してきたが解消されていない。今後は、共通理解を深め各種事業を進めるべきである。

② 多くの自主財源を必要とする生活に密着した、コロナ禍対応や災害対応を最優先に進めなければならない状況であることから、スポーツ・レクリエーション複合施設整備調査・基本計画策定業務委託の実施については、持続可能なまちづくりを念頭においた、基本計画の策定や全体事業費の推計値を、早急に示し協議を重ね熟考し進めるべきである。



委員長報告

主な質疑

財政と歳入

議員 今後も税収が減少すると思うが、町長の認識はどうか。

町長 人口減少が進むことで、増加することはないが激変緩和措置のため極端な収入源にはならないと考える。

議員 町債、その中でも過疎債、令和3年度累計で32億5千万円、非常に有利な起債だが30%は純然たる町の借金である。今後財政を圧迫する可能性があるが、町長の認識は。

町長 財政規律を重んじながら行財政運営に当たり、身の丈に合った運営を堅持する。

議員 起債については償還のピークがいつかが問題である。将来に、次の世代に負担をかけたくないと考えるが。

町長 その姿勢を大事に次の財源確保をしていきたい。



委員会での様子

スポーツ・レクリエーション複合施設整備調査の基本計画策定事業

議員 用地の提供に関して、情報提供はいつあったのか。

町長 一昨年11月、昨年12月頃、2回来庁され、1回は、新社長からである。

議員 相手との交渉は、町長が一人で対応したのか。

町長 2回とも先方が見え、会社の方向性や方針を話された。当然、担当課を介し複数で対応した。



議員 相手の考える価格等は把握しているのか。

町長 町として把握しているのは固定資産税である。

議員 パークゴルフ場単体から複合施設に至った町長の考えを伺う。

町長 単体だと利用が限定的になる、複合施設であれば幅広い町民がゆったりくつろげ、持続可能なまちづくりを進めることで、より町民の理解を得られると考えた。

議員 複合施設の総予算、整備期間

町長 専門的な立場からのものを出して、順を追って示したい。簡単に

出せるものではない。
議員 計画は前提条件を整理し、基本条件を示した上で委託すべきだが、丸投げで委託するのか。

町長 基本計画策定の概要は示したとおりである。

議員 調査をしたが、断念することもあり得ると捉えていいのか。

町長 精度と熟度を高め提案するので判断してほしい。

議員 財政の長期見通し総合計画等との整合性を考えての事業か。

町長 町の財政規模・財政能力を勘案し計画をしている。

議員 町が正式に出向き要請等をしているのか。

町長 今後、議会と議論を重ね、タ
イミングを捉えて慎重に進めたいと
考える。

議員 用地に係る費用、造成費用な
どの数字は示せないのか。

町長 貸借か取得か決まっていない
中で進出した動きであり、慎重にな
らざるをえない。

議員 実施か否か、わからないこと
に調査費用の考えは理解できない。

町長 基本的な可能性調査をし、全
体像を把握するための調査である。

議員 施設の必要性、財政規模、維
持管理費について、どのように考え
ているのか。

町長 先を見据えた堅実な財政運営
に当たってきた。この段階で金額は
示せないが、財政計画を堅持した中
での事業計画にしたい。



給食費の値上げ

議員 給食費の値上げについて、議
会に対して説明不足では。

教育長 値上げを決定する説明不足
は大変申し訳ない。担当課の手落ち
だった。

議員 コロナ禍の中で保護者の収入
減が危惧されるが、今年度は据え置
く考えは、町長になかったのか。

町長 今回のコロナ経済対策の中
でも対応した。

議員 月額はわずかと思われるが、
年間・複数となれば負担が増加す
る。まして議会への示しがなかった
ことを、町長はどう考えるか。

町長 十分とは言いがたい。今後
に向けてしっかり対応していく。



議員 町長の複合施設に対する本気
度と強い決意は。
町長 将来を見据えた「賑やかな過
疎」の実現に向け、大きな責任を持
ち、最も進めたい事業である。
議員 半年・1年、熟度を高めてか
らとの考えはないか。
町長 今回の調査で成果を得れば次
に進む。どうしても時間を要するの
で、このタイミングである。

議 会 か ら の お 知 ら せ と お 詫 び

議会傍聴

2月13日に発生した福島県沖を震源とした地震の影響を受け、議場が使用できない状態となり、第1回定例会が全員協議会室で行われました。

そのため、同室における傍聴スペースが確保できず、傍聴を希望された方には大変ご迷惑をおかけしました。

現在、議場の復旧作業を進めておりますので、復旧が終了し傍聴が可能となった際にはHP等でお知らせいたします。



被害を受けた議場

議会報告会

5月中旬に議会報告会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止と参加される方の健康と安全を考慮し、中止とさせていただきます。

お詫びと訂正

議会だよりやまもと Vol. 191（令和3年2月1日発行）において、次のとおり誤りがございましたので、訂正させていただくとともに深くお詫び申し上げます。

4ページ（高橋建夫議員一般質問掲載ページ）、4段、22行目
【誤】「地域福祉行動計画」 ⇒ 【正】「地域福祉活動計画」

一 般 質 問 我が町政を問う

- ◇竹内 和彦 議員 P11
 - ・令和3年2月13日福島県沖を震源とする地震について
 - ・震災復興の総括について
- ◇高橋 眞理子 議員 P12
 - ・「東日本大震災から10年」安心安全な町づくりについて
 - ・地方創生の町づくりについて
- ◇岩佐 孝子 議員 P13
 - ・今後の町づくりについて
 - ・地域活性化に向けた取り組みについて
- ◇伊藤 貞悦 議員 P14
 - ・人口減少対策について
 - ・町民の望む各種サービスの拡充について
- ◇遠藤 龍之 議員 P15
 - ・「子育てするなら山元町」に見合った施策の展開を
 - ・東部地区農地整備事業の取り組みについて
 - ・複合施設整備事業の取り組みについて

一般質問とは
町の行財政全般にわたり、状況や見通しを聞き疑問点をただし、所信の表明を求めるもの

国道6号沿いの民有地活用は

町長 活力を創出できる一大拠点化に



たけうち かずひこ
竹内 和彦 議員

議員 これから先、さらなる交流人口拡大策を取るべきでは。

町長 今後、人口減少は避けられない。仮に過疎化が進んでも、にぎわいのある過疎を目指したい。

議員 交流人口は、今や100万人目前にある。この目標を200万人にし、「夢いちこの郷」の売り上げ倍増を目指してはどうか。

町長 復興が進み、様々な目標が現実味を帯びてきている。

議員 イチゴ農家は、既に復活している。一

昨年のイチゴ狩りは、

農家や農業法人で10万人の来客があった。町には約70軒のイチゴ農家があり、伸びしろはまだまだある。マーケットは仙台圏だけでなく、仙台空港からのインバウンドを考えると、世界である。体験型観光農園を町のブランドに育て、来客30万人を目指してはどうか。

町長 震災後いち早く、イチゴの復活に取り組んだことが、今の町の活力につながっている。観光農園だけでも30万人の目標も期待

できる。

議員 坂元の国道6号沿いの民有地11・9ヘクタールの活用は、これまで約半世紀の間、何も利用されず眠ったままになっている。地域資源としては大変もったいないと思うが。

町長 本町にとって大変有用な地域資源である。

議員 この地に、日帰り温泉を含むスポーツ・レクリエーション複合施設を整備すれば、新たな飛躍の可能性があると思うが。

町長 既存施設と新たな複合施設の整備により、地域の相乗効果を生み、町のにぎわいと活力を創出でき、一大拠点化が図られる。

議員 この6号沿いの民有地活用が実現すれば、交流人口200万人も夢ではなくなる。この地をいかに活用するかで、町の将来が大きく左右されることになる。

地震被害の支援策は

町長 被害を把握し支援策を検討する



被災者への支援は

議員 被災者に対し、国や県の各種支援適用の見通しは。

町長 現時点では、災害救助法の適用は難しい状況にある。

議員 福島県は、すでに新地町を含む17市町が災害救助法に適用されている。我が町は適用されないのか。

町長 県境をまたがる被害の基準が制度設計の不備である。今後、要請・要望活動にしっかりと取り組んでいく。

議員 町独自の支援は考えているのか。

町長 被害状況を速やかに把握し、何らかの支援を検討していく。

地方創生の町に向け職員へエール

町長 本来あるべき姿に努力していく



たかはし まりこ 議員
高橋 真理子

議員 「チーム山元」の一丸をスローガンのもと、職員のモチベーションアップに効果的といわれる「正しく褒めること」について町長は。

町長 褒め上手かと言われれば、その部類に入るとは言い切れないかと。この10年間、余裕がなかった。執行部の窮状を再認識して欲しい。職員全体、その弊害が様々な面にあるかと思う。

議員 働きやすい職場環境において、職員のメンタルチェック体制やフォローなどは。

課長 年一回のメンタル調査や個別面談を実

施し、町の相談員と産業医に繋ぎフォローしている。職員には、階層別研修やコミュニケーション能力研修、メンタルヘルスの講習などを受けてもらっている。

議員 仕事に慣れない若い職員等との対応は。

町長 入庁して半年から1年の間に、ランチミーティングで、基本的なことを早くマスターして貰うようにアドバイスをしている。一定の年数の経った職員には、一堂に会して、町の動きの共通理解や確認の機会を設けている。

議員 「報・連・相」等で職務上の信頼関係を築き、任せて、気運を高めていくという考えは。

町長 状況によるが、任せると同時に一緒に悩むことも大切。本来あるべき姿に努力していく。

大震災から10年・安心安全な町を

町長 防災無線による情報には工夫の余地

議員 東京電力福島第一原発事故による汚染土が、町内の21か所の仮置き場に保管されているが、今後の対応は。

町長 本町は、放射性物質汚染対処措置法に基づく、汚染状況重点調査地域の指定を受けている。汚染土壌の処分等について、国では現在、再生利用等に関わる実証実験や検討が進められている。いまだに、具体的なことは示されていないが、引き続き国に対し強く要請していく。保管場所の放射線量は毎月測定しており、0.05マイクログシーベルト前後となっている。

議員 災害時の防災無線による緊急放送内容、もっと詳細に伝えることが必要では。

町長 回数も含め、タイムリーに必要な情報を流すなど工夫の余地がある。一方で、戸別受信機の加入率が54・7%とまだ低いため、周知を図りながら有効かつ適切な運用に努めていく。



災害時の緊急放送はしっかりキャッチ！

命を守る避難道路の整備を早急に

町長 急いで整備に取り組みたい

議員 避難道路として整備されるべき町道上平浜原線、通称四番作道は早急にすべきではないか。

町長 町道上平浜原線は、平成27年度から着手している。地元と協議しながら、水路整備を先行し、昨年度は駒場ため池東側を新設区間とし盛土工事を実施した。

課長 今後は、残事業費が1億5千万円から2億円程を見込み、新年度は工事費として

3千万余を計上している。このペースだと数年を要する見通しである。

議員 今年は60m。い

ざという時に避難すべき道路がない。5、6年も待てというのか。

町長 避難経路として問題意識を持ち整備に取り組んでいる。

議員 命を守るべき避難道路である。住民の不安を払拭するため早急に道路整備をすべきではないのか。

町長 全体のバランス

を考え、事業遂行を図っていききたい。

議員 坂元新市街地「道合地区の災害公営住宅」の建設時において、住民の安全安心を図るため四番作道を嵩上げするとした約束は。

町長 盛土構造であり、事業費の抑制を図り計画的な整備に努めている。

議員 平成27年に着手し、すでに7年も経過しているが。

町長 必要な盛土材を適切な時期に受け入れながら整備を急ぎたい。

議員 完成見込み時期は。

課長 現段階では、何年後と回答できない。

議員 第三線堤であれば町道ではないはず。

予定額まで示し10年経過している。命を守る避難道路は早急に整備すべきである。



今なお 未整備の四番作道

山一小に児童クラブを整備すべき

町長 今後検討する必要がある

議員 現在、山一小児童12名が山二小児童クラブへ通っている。児童・保護者の負担軽減を図るため山一小に児童クラブを整備する考えは。

町長 次年度から山二小児童クラブの受け入れを増加する。

議員 山二小に増加するのではなく、山一小に設置すべきでは。

町長 町全体での児童クラブのあり方を検討する必要がある。

議員 環境整備により合計出生率が上がり転入者も増加するのではないか。憩いや触れ合い・交流施設整備ではなく、優先すべきは目の前に苦しんでいる方々に手を差し伸べることである。

ランドセルや通学カバンの支給は

町長 現物の支給ではないが援助している



伊藤 貞悦 議員

議員 出生数の減少や婚姻、妊娠・出産に対処するわが町独自の考えについて、結婚祝い金や出産祝い金制度拡充の考えはないか。

町長 直接的な祝い金はこれまでの検討の中では実施していないが、それぞれの段階に応じ支援策は構築している。まずは今の制度を継続運営していくことを考えている。

議員 若者や新婚世帯は、経済的支援を望むことが一番。第一子から10万円の祝い金を出すべきだと考える。町の出生者が年間50人であり、大きな額にはならないのではないか。

町長 様々な角度から検討してきた経緯がある。この支援制度を基本に制度の再構築に邁進していく。

議員 出産祝い育児支援チケットについて、月額2000円で「おむつ」と「ミルク」は買えない。月額1000円アップし、期間を24カ月にするべきでは。

町長 支援事業は一つ一つが完結的に支援策としていくわけではない。全体的にみて相当の支援策を講じているので理解願う。指摘のあった部分を含めた見直しや一部検討の余地はある。

議員 ランドセルや通学カバンを支給する考えは。

教育長 一つの提言として受け止めるが、現時点でこの事業の実施についての具体的な回答はできない。

議員 小・中学校入学



町からのお祝いなら、うれしいね

生は併せて最大150名。1個1万円でも150万円である。入学時には制服や運動着等諸経費も相当な額となる。保護者の負担軽減と町の「入学祝い品」との考えから、令和4年度で予算措置する考えはないか。

町長 一つ一つの施策を全体として捉え、再検討・再構築の参考にする。

通学バスを祝日等も運行できないか

教育長

臨機応変に対応できよう検討する

議員 バス利用者への説明は徹底しているのか。

教育長 説明会を開催し、バス運行等については知らせているが、詳細な説明はしていないため、危惧している。

議員 土・日、祝祭日の運行についてはどうか。

教育長 土・日曜日の部活動でのバス利用は可能である。

議員 バス利用の申請や変更を含めて、年間のスケジュール等は説明しているのか。

教育長 今後、機会を捉えて周知を図り、臨機応変に対応していきたい。

議員 あらゆる角度か

ら対応できるように検討を求める。



複合施設整備計画 多くの疑問

町長 地域経済の活性化、健康寿命の延伸に



えんどう たつゆき
遠藤 龍之 議員

議員 パークゴルフ場整備も含めた複合施設整備事業の取り組みは、今取り上げなければならぬ事業か。再検討を。

町長 「やまもと夢いちごの郷」等との相乗効果を生みだせれば地域経済の活性化、健康寿命の延伸と医療費削減の実現化にも寄与するものと考えている。

議員 交流人口の拡大を強調しているが、その経済効果をどの程度に想定しているのか。

町長 今の段階では確かなものは持ち合わせ

ていない。

議員 事業の大きな目的として、健康寿命の延伸と医療費削減に寄与するとしているが。

町長 身近で運動ができ、交流の場があれば、健康問題等の効果に期待が持てる。

議員 それは既存の施設でも十分可能と考えるが、町内利用者をどう想定しているのか。

町長 その場に応じて検討の熟度を高めていく。

議員 明解な答弁になっていない。町の財政事情からみて総事業

費をどう想定しているか。

町長 この調査の中で見極めながら、という段階である。

議員 新年度予算では公共施設の維持管理費約8億円を計上しているがどう受け止めるか。

町長 いろいろな状況があり単純に言われても返答に窮する。

議員 この事業はいつ、どのような機関で決定したのか。

課長 町長の指示で10月に生涯学習課、企画財政課、商工観光交流課での打合せを実施した。

議員 正規の機関での決定ではないようである。財源の問題、総事業費も示されず、職員体制も十分でない中、今取り組むべき事業か、再検討を強く求めるものである。

子育て世帯の財政的負担の軽減を

町長 財源確保が課題 十分な検討が必要

議員 「子育てするなら山元町」に見合った施策の展開、子育て世帯の財政的負担のさらなる軽減を求め、まずは学校給食費を完全無償化にする考えはないか。

教育長 財政負担が大きく、慎重に検討していく。

議員 保育所の副食費や0～2歳児までの保育料無料化はどうか。

町長 財源確保が課題となり、十分な検討が必要。

議員 月5000円負担の学童保育料はどうか。

町長 事例の検証と子育て世帯の動向を注視し、保護者の負担の在り方を検討する。

議員 出生により負担が増える国保税の子どもの均等割の10割軽減を廃止する考えはないか。

町長 国が示す子ども均等割軽減に対応し、負担軽減を図る。

議員 子育ての負担軽減

減についてはまだまだ不十分であることを指摘する。



その他の質問

東部地区農地整備事業の取り組みについて
農地の不具合等の取り組み、事業完了に向けた今後の対応に問題はなのか。

人事

教育委員会委員（同意1号）

菅野 正彦 氏

（山寺区）を同意

補正予算

一般会計補正予算（議案第13・26号）

○主要内容

- 新型コロナワクチン接種に係る事業費 1億924万円
- 農山漁村地域復興基盤総合整備事業等負担金 7,792万円
- 2/13福島県沖地震に関する災害復旧費 4億3,922万円

令和2年度 各種会計補正予算一覧表（単位：千円）

会 計 名	補正額（3月）	補正後予算額
一般会計	873,245	15,206,381
国民健康保険事業特別会計	△ 10	1,777,924
後期高齢者医療特別会計	△ 3,614	177,018
水道事業会計	446	679,208
下水道事業会計	4,000	1,129,736

（補正のあった会計を掲載）

計画

高齢者保健福祉計画・第8期介護保険計画（議案第8号）

○提案理由

介護保険サービスの充実と介護保険事業の安定的運営を図るもの

○基本理念

～誰もが地域で安心していきいきと暮らせるまちづくり～

○計画期間

令和3～5年度（3年間）

○介護保険料の設定



認知症カフェの様子

	第8期（案） R3～R5年度	第7期（現行） H30～R2年度	比 較
保険料基準額（年額）	66,000円	66,000円	0円
保険料基準額（月額）	5,500円	5,500円	0円

令和3年第1回臨時会

1月12日（火）に臨時会が開催され、報告1件、議案2件を審議しました。

議案等の審議結果

議案番号	議 案 名	議決の結果
報告第1号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更） ※（仮称）新浜諏訪原線道路改良工事 1,246,300円増額	報 告
議案第1号	平成30年度（債務）漁機2号 東波除堤工事請負契約の変更 ※消波ブロックの増工 65,910,580円増額	可 決 （全員賛成）
議案第2号	令和2年度 山元町立坂元小学校校舎改修工事請負契約の変更について ※外壁工事変更 17,710,000円増額	

○令和3年 第1回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告第2号	専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）※ 町民グラウンド拡張・改修工事	報 告
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度山元町一般会計補正予算・専決第5号） ※ 新型コロナウイルス感染症関連	承 認
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度山元町一般会計補正予算・専決第6号） ※ 2月13日福島県沖地震関連	
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度山元町水道事業会計補正予算・専決第1号） ※ 2月13日福島県沖地震関連	
議案第3号	山元町国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可 決 (全員賛成)
議案第4号	山元町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案第5号	山元町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例	
議案第6号	山元町国民健康保険条例の一部を改正する条例	
議案第7号	山元町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例	
議案第8号	山元町高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画について	
議案第9号	山元町介護保険条例の一部を改正する条例	
議案第10号	山元町東日本大震災遺構条例の一部を改正する条例	
議案第11号	岩沼市外一市四町水道水質検査協議会規約の変更について	
議案第12号	土地の処分について ※ 新浜地区企業誘致用地	
議案第13号	令和2年度山元町一般会計補正予算（第6号） 【P16に掲載】	
議案第14号	令和2年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	
議案第15号	令和2年度山元町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	
議案第16号	令和2年度山元町水道事業会計補正予算（第4号）	
議案第17号	令和2年度山元町下水道事業会計補正予算（第3号）	
議案第18号	令和3年度山元町一般会計予算 ※修正案（賛成6、反対6 同数のため議長裁決により否決） 【P2～6に掲載】	可 決 (賛成6、反対6、同数のため議長裁決)
議案第19号	令和3年度山元町国民健康保険事業特別会計予算	可 決 (全員賛成)
議案第20号	令和3年度山元町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第21号	令和3年度山元町介護保険事業特別会計予算	
議案第22号	令和3年度亘理地域介護認定審査会特別会計予算	
議案第23号	令和3年度山元町水道事業会計予算	
議案第24号	令和3年度山元町下水道事業会計予算	
議案第25号	一般国道6号と町道（仮称）新浜諏訪原線との交差接続工事に関する令和2年度契約について	
議案第26号	令和2年度山元町一般会計補正予算（第7号） 【P16に掲載】	
議案第27号	損害賠償額の決定について ※ 道路施設による自動車事故	
同意第1号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて 【P16に掲載】	同 意

○陳情の受理

陳情番号	件 名	陳情者等の氏名	結 果
陳情第1号	山元町パークゴルフ場構想に関する要望書	山元町パークゴルフ協会 会長 青田 義久	配布のみ
陳情第2号	国立病院の機能強化を求める陳情書	全日本国立医療労働組合 宮城支部 支部長 大山 裕司	
陳情第3号	令和3年福島県沖地震による瓦屋根復旧工事に関する要望書	宮城県瓦工事業組合 理事長 米山 弘明	

総務民生常任委員会

組織の再編

東日本大震災以降の組織再編、新型コロナウイルススワクチン接種体制、今後の組織再編について調査した。

意見

(1) ワクチン接種推進班には、専属保健師1名を含む8名体制で調整中だが、スムーズな接種業務の確保のため、病院や行政以外との協力体制の構築も必要である。



(2) 復興業務が収束しつつある中で、通常の状態に戻った場合の職員定数適正化を急ぐ必要がある。

(3) 今後の課題として、派遣職員が帰庁後の体制確立が急務である。

保育事業

第2期山元町子ども・子育て支援事業計画に基づき、待機児童の推移、3歳児未満の保育制度、小規模保育事業の実施計画について調査した。

意見

小規模保育事業の実施にとどまらず施設整備に努め、待機児童が出ないように保育所と幼稚園の連携を図り、入所者の希望が叶うような保育事業に取り組

むべきである。

中期財政見通し

令和5年度までの事業一覧により、中期財政見通し作成の目的や今後の推計等について調査した。

意見

実施計画に見合う大玉事業（500万円以上の事業）の取り組み、パークゴルフ場単体整備と複合施設の取り組みについて議会での確認と相違がある。また今後予定している過疎地域自立促進計画との整合性も合わせ注視していく必要がある。

産建教育常任委員会

農水産物直売所飲食施設

施設整備の進捗状況について現地調査を実施した。

意見

(1) 交流人口拡大のためにも営業時間などを検討、工夫し、施設を十分生かしていくべきである。

(2) 駐車場が不足していないかを注視していくべきである。

パークゴルフ場整備

パークゴルフ場整備から複合施設への方向変換の経緯、今後の計画について説明があった。

意見

複合施設整備への前提条件の整理や事業計画原案、全体事業費や採算性などの資料も示されていないため、今後も継続調査をしていく必要がある。

教育環境整備

学校施設、学力向上について、山下小学校、山下第一小学校での現地調査を実施した。

意見

(1) 両校ともコロナ禍において、感染防止に伴う新しい学校生活様式を実践しており、今後とも教育目標に向かい積極的に学力向上に取り組んで欲しい。

(2) 校舎は老朽化しており、児童の安全・安心を確保するため、山下第一小学校は早急に大規模改修をすべきである。



フードコート 現地調査

議員の会議等出欠状況

令和3年1月1日～3月31日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				伊藤貞悦	橋元伸一	岩佐秀一	大和晴美	渡邊千恵美	高橋眞理子	竹内和彦	遠藤龍之	岩佐孝子	阿部均	菊地康彦	高橋建夫	岩佐哲也
1	6	水	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	8	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	12	火	第1回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	木	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	15	金	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	20	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	20	水	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	22	金	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	26	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	28	木	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
2	4	木	産建教育常任委員会	欠	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	9	火	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	16	火	全員協議会	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	水	県町村議会議長会 定期総会	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	18	木	全員協議会	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	22	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	24	水	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
第1回議会定例会（2/26・3/3・4・8・18）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	4	木	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
予算審査特別委員会（3/8・9・10・12・15・16）				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
3	17	水	総務民生常任委員会	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—	—	○	—
	17	水	産建教育常任委員会	○	—	—	○	—	—	○	—	○	○	○	—	—
	18	木	議会運営委員会	○	○	—	—	—	—	○	○	—	—	○	○	○
	18	木	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	○	—	○	—	—	○	—	—	○	—
	30	火	議会広報・広聴常任委員会	○	—	○	欠	—	○	—	—	○	—	—	○	—

議長交際費

区 分	1月		2月		3月	
	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容	金額(円)	内 容
慶 弔	21,500	元議員葬儀 香典、生花代	21,500	議員実母葬儀 香典、生花代	0	—
その他	0	—	0	—	20,000	東日本大震災追悼式 生花代
合 計	21,500		21,500		20,000	

すぎです
やまもと



コロナ退散を祈願

とうごいなりだい かぐら

當護稻荷大神楽保存会(山下区)

会長 伊藤 由信氏(会員10名)

当大神楽は、明治2年「當護稻荷神社」と改称した地元神社の祭典での奉納として舞われているもので、その始まりは1596年頃と言われています。

また、その他に新築祝いや火伏せ(火災を防ぐこと)の依頼を受け、舞われてきたもので、民俗行事としての貴重な伝統芸能であり、次世代へ継承していかなければならないものと考えております。2年前に3人の後継者が加入しましたが、まだまだ後継者不足の状況にあります。ぜひ、多くの皆様にこの大神楽を知っていただきたいです。

今年は春祭りで披露するため、練習を重ねてきましたが、コロナ禍の影響により、祭りは中止となり、奉納神楽のみ舞うこととなりました。

このコロナ禍が早く収束し、郷土の伝統芸能活動や祭典が再開することで、多くの皆様の笑顔があふれ、歓声が響きわたることを願っています。

◆◆◆ お知らせ ◆◆◆

令和3年

第2回山元町議会定例会(予定)

会期: 6月4日(金)

～11日(金)

開会: 午前10時

本会議: 6月4日・8日・9日・11日

(一般質問は、6月8日・9日です。)

町ホームページをご覧ください

山元町議会で **検索**

- 議会中継(録画配信)
- 会議録
- 議決結果
- 議員、委員会等名簿
- 会期日程
- 議会だより
- 決議

以上の内容を掲載しています。

編集デスク

東日本大震災から10年という矢先の2月13日に震度6弱、続く3月20日には震度5弱の地震がありました。被害を受けた皆様には、心よりお見舞いを申し上げます。

2月の地震による影響で、令和3年度第1回定例会は、全員協議会室で開催され、修正案への討論がありました。が、当初予算等の議案は全て可決されました。

新型コロナウイルス、県独自の緊急事態宣言発令中、新年度4月に町立山元中学校が開校しました。これから、新たな校風と歴史を築いていくことでしよう。

新年度も議会では町政の課題に、しっかりと取り組んでまいりますので、ご支援を宜しくお願い致します。

(高橋眞理子)

議会広報・広聴常任委員会

委員長 岩佐 孝子
副委員長 高橋眞理子
委員 伊藤 貞悦
委員 岩佐 秀一
委員 大和 晴美